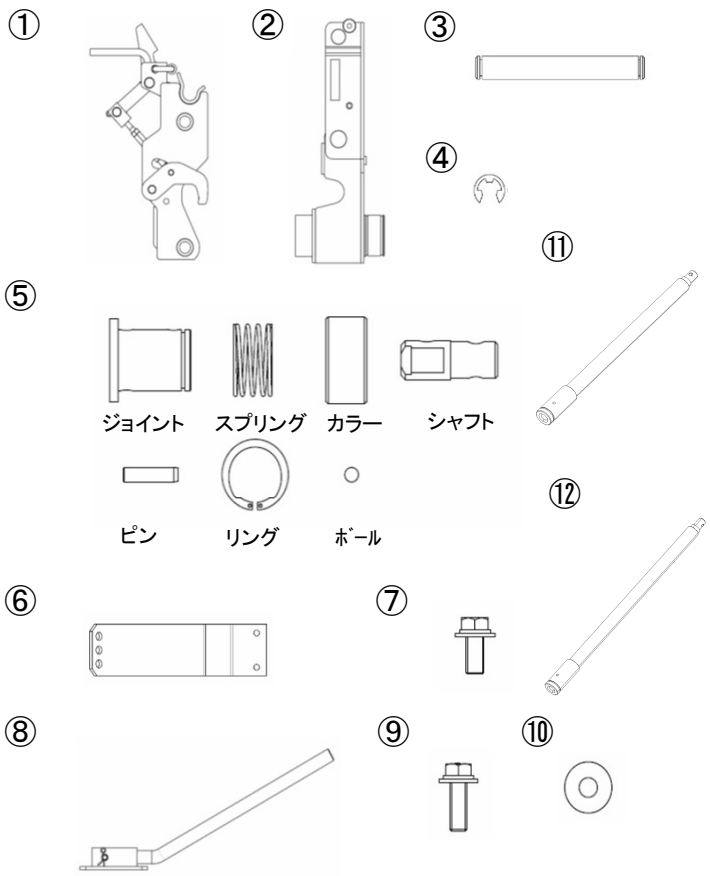
# クイックヒッチキット　KLE6-SH 取付要領書（LE50／60用）

No. 2605 2541 001 1

## 1. キット部品の確認

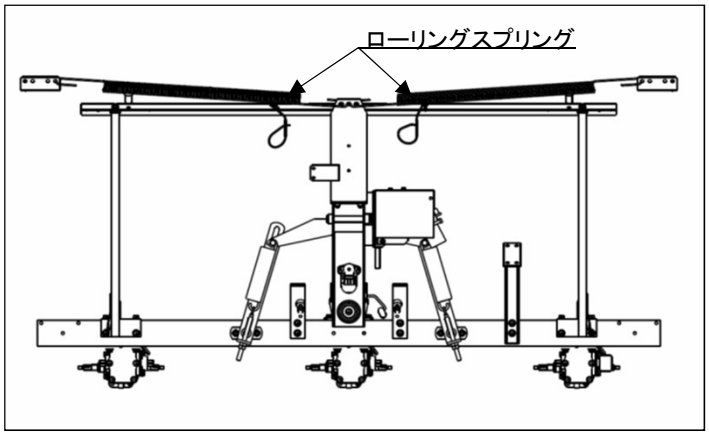



梱包部品明細表

| No. | 部品名称 | 個数 |
|---|---|---|
| ① | リンクホルダ | 1 |
| ② | ホルダ | 1 |
| ③ | シャフト | 2 |
| ④ | Eリング | 4 |
| ⑤ | ジョイント | 一式 |
| ⑥ | マスト | 1 |
| ⑦ | ボルト（マスト取付け用） | 2 |
| ⑧ | 補助スタンド | 1 |
| ⑨ | ボルト（補助スタンド取付け用） | 4 |
| ⑩ | ワッシャ | 1 |
| ⑪ | シャフト (L=419mm) | 1 |
| ⑫ | シャフト (L=498mm) | 1 |
| ⑬ | 取付要領書（本紙） | 1 |

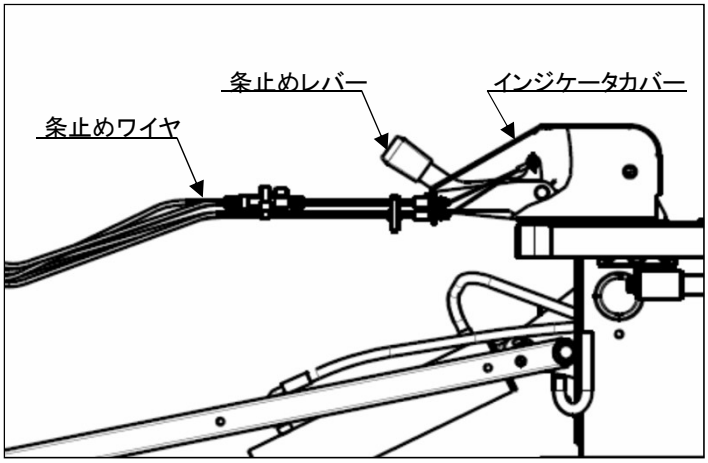
## 2. 取付前の準備

（1）　左右のローリングスプリングを外しておきます。
※エンジンをかけて、植付部を右（左）に移動させると左（右）のローリングスプリングが容易に外せます。

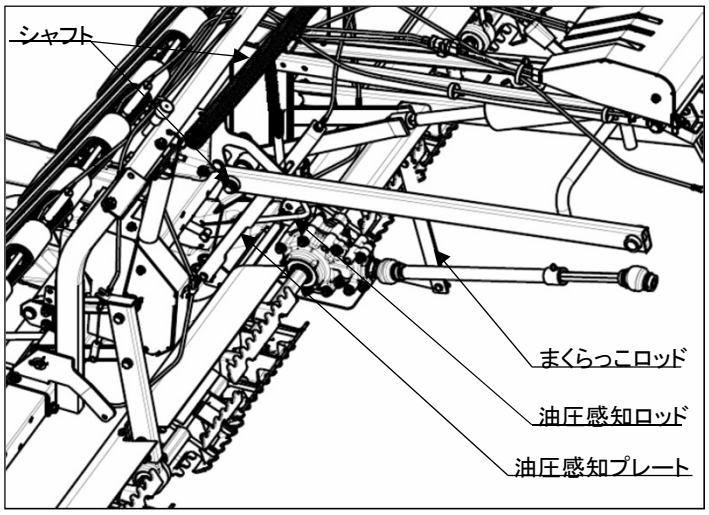



## 3. 本機と植付部の分離

（1）インジケータカバーを外し、条止めワイヤをレバー側で外します。



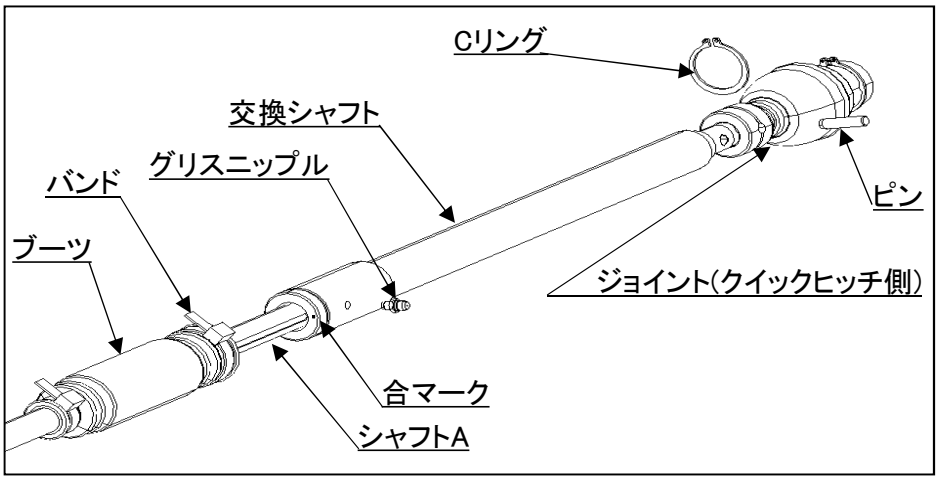

（2）すべてのペーストホースをフロート側のカプラより外します。（P仕様）
（3）植付部ハーネスを本機側カプラより外します。
（4）油圧感知のロッド、プレートをフロート側で外します。
（5）まくらっこのロッドを外します。
（6）リフタ部から支点部（上下共）シャフトを引抜きます。

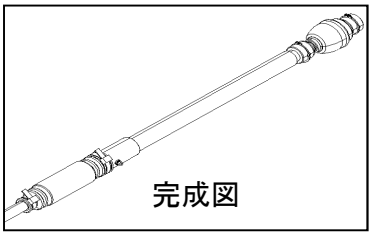



（7）ワイヤ・ハーネス・リンク・ホース類が全て分離できている事を確認してから、車輪を手で回しながら本機と植付部を分離します。（2人作業）

## 4. シャフトの交換

PTOを利用する際にはドライブシャフトの一部を交換する必要があります。
株間が標準仕様の場合は、⑪シャフトに交換してください。
株間が密植使用の場合は、⑫シャフトに交換してください。



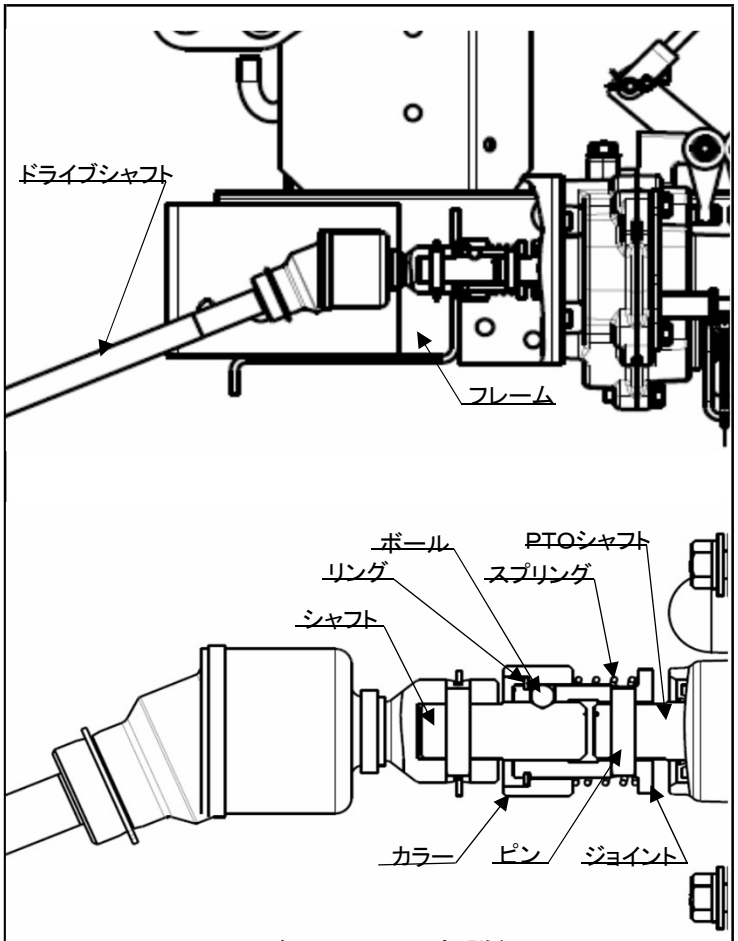




(1) ジョイント部のCリングを外し、ピンを外します。Cリングを固定している鉄線はほどいて外してください。
(2) バンドを緩めて交換するシャフトをシャフトAから抜き取ります。
(3) 交換するシャフトからグリスニップルを外し、新しいシャフトに取り付けます。
(4) シャフトAにグリスを塗布してください。
(5) 新しいシャフトをシャフトAに挿し込みます。この時、新しいシャフトの合マークが、
シャフトAのスプラインが切削されている部分に合うように挿し込みます。
(6) 新しいシャフトをシャフトAの奥まで挿し込んだら、バンドを締め付けてブーツと固定します。
(7) (1)で外したCリングとピンを用いてジョイントを取り付けます。Cリングは鉄線を用いて固定してください。

## 5. ジョイントの組付け

（1） 本機側のユニバーサルジョイントを外します。

（2） PTOシャフトの合いマークに合わせてヒッチ用のジョイントを組付けます。

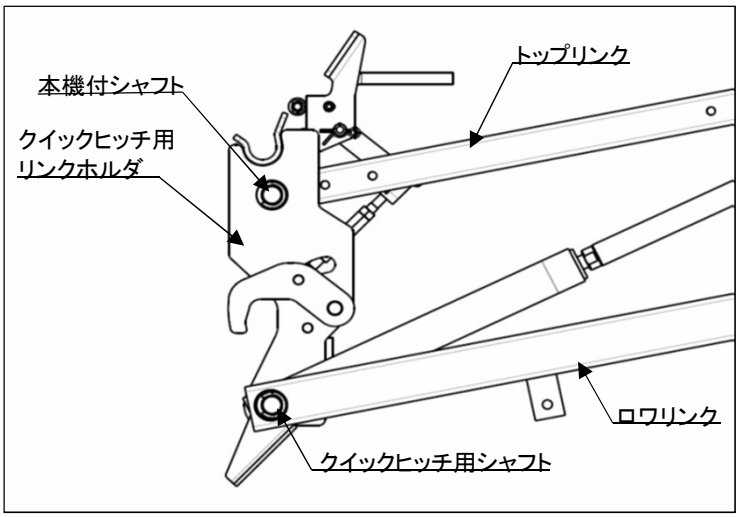



ジョイント取付部詳細

※標準株間仕様はジョイント取付時、【注意点1】を確認してください。

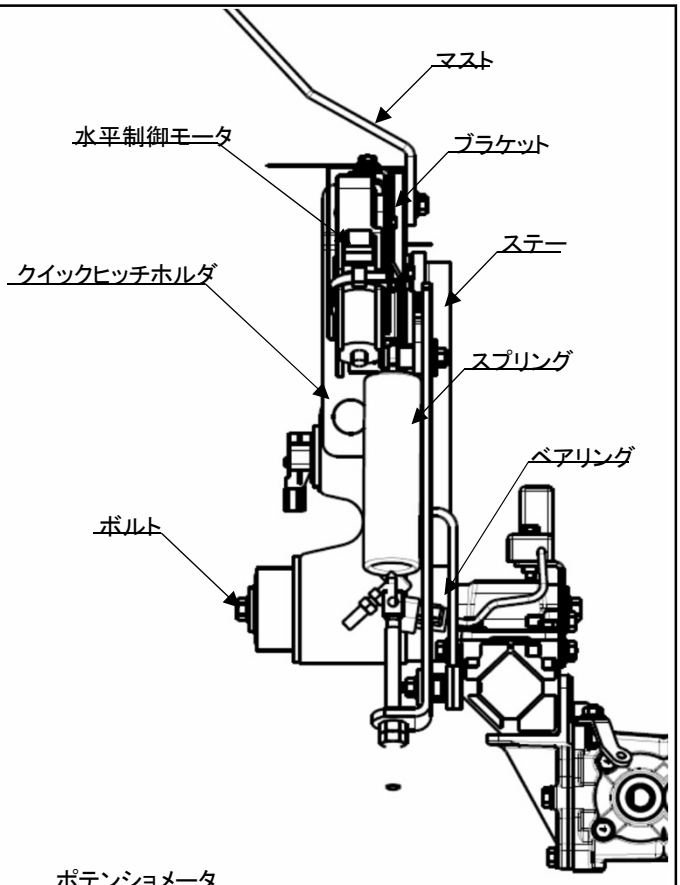
## 6. リンクホルダの組付け

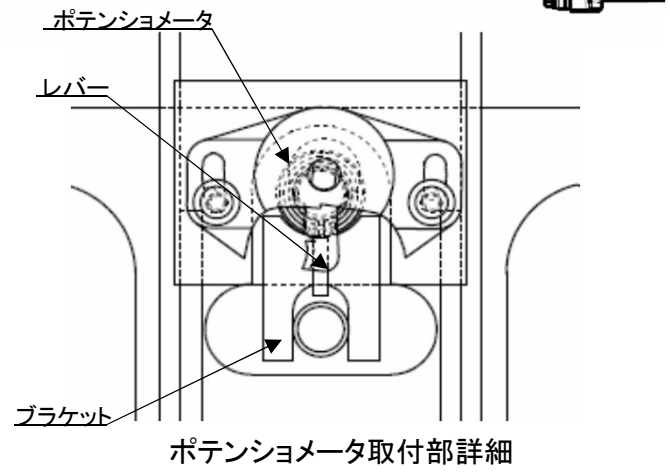
（1） クイックヒッチ用リンクホルダをトップリンクとロワリンクに取付けます。クイックヒッチ用シャフトとEリングを使用します。




## 7. ホルダの組付け

（1）ステーの左右スプリングを外します。
※スプリング再調整をなくすためにアジャスタにマーキングをしておきます。
（2）植付部とホルダを連結しているボルト（M10×25）を取外し分離します。
（3）本機付きホルダにあるベアリング2個,Oリング2個とライナをクイックヒッチホルダに組替えます。
（4）クイックヒッチホルダにマストを組付けます。
（5）本機付きホルダから水平制御モータ・ブラケットを取外し、クイックヒッチホルダに組替えます。
（6）本機付リンクホルダからポテンショメータ、レバーを取外し、クイックヒッチホルダに取付けます。
（ポテンショメータのレバーはブラケットの左側にセットしてください。）
（7）クイックヒッチホルダを植付部ローリング支点に差込み、支点部をボルト（M10×25）で締付けます。
（8）ステーに左右のスプリングを取付けます。

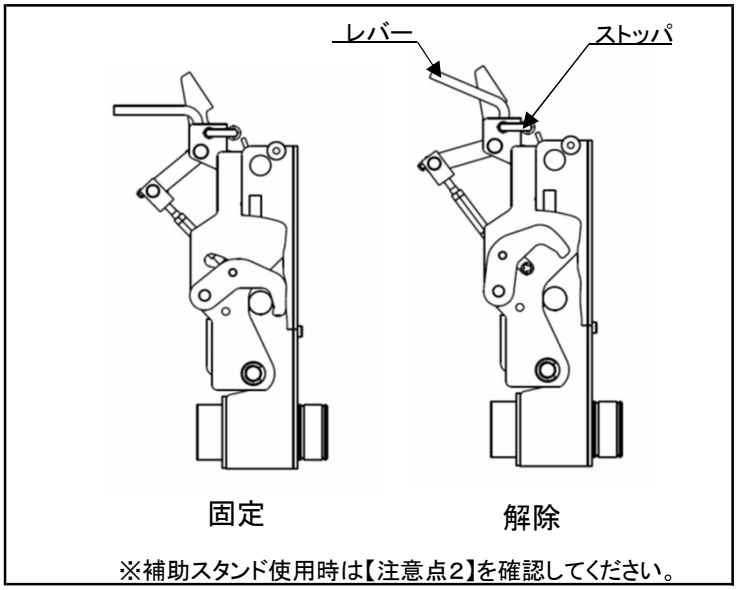



ポテンショメータ取付部詳細

## 8. 本機と植付部の合体

（1） レバーを解除位置にしてストッパを掛け、本機側のPTOシャフトと植付部側シャフトボスの合いマークを合わせてからクイックヒッチをドッキングさせ、レバーを固定位置にし、ストッパを掛けます。




※補助スタンド使用時は【注意点2】を確認してください。

（2） ホース・ワイヤ・ハーネス・ロッドを切り離した際の手順と逆手順で接続します。

（3） 左右のローリングスプリングをもとに戻します。

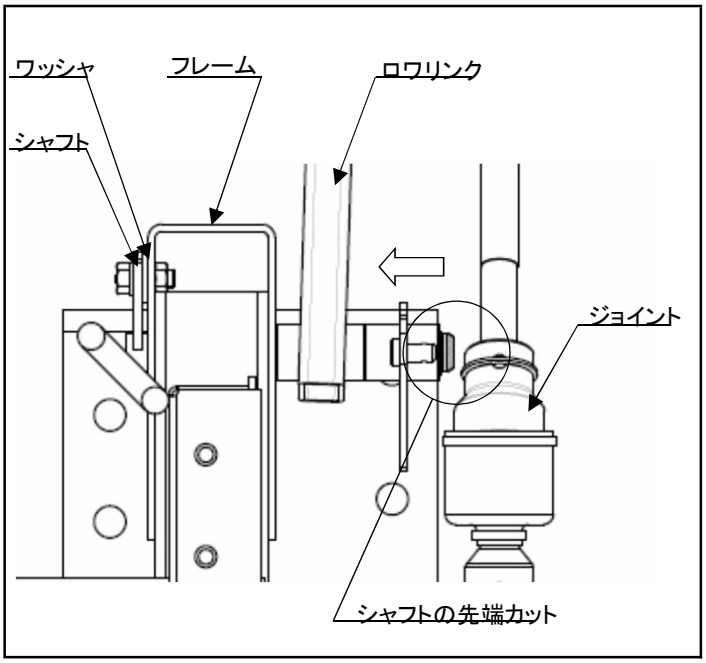
（4） 植付部を上げたとき機体と植付部が水平になるようにポテンショメータを調整します。

## 9. 最後に

（1） ボルト・ナット・バンド等の締め忘れが無いかチェックしてください。

【注意点1】(標準株間仕様)

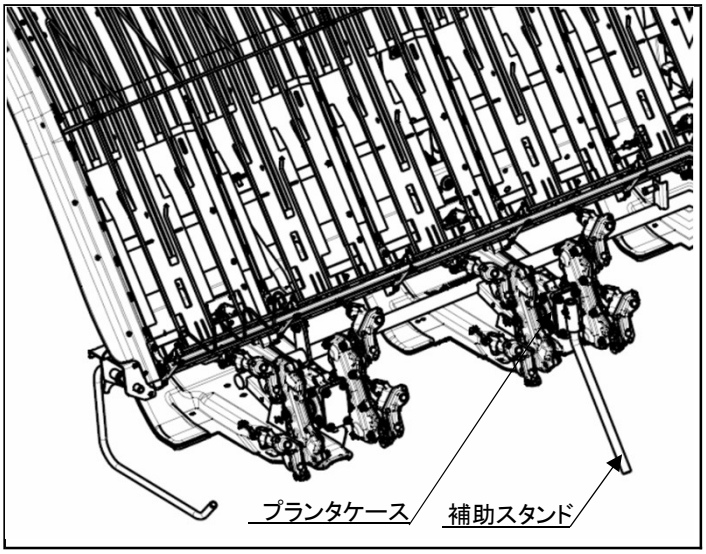
標準株間仕様にヒッチを付ける場合は以下の点に注意してください。




ジョイントがロワリンク支点のシャフト先端に接近するために、シャフトとフレームの間にワッシャを入れて矢印方向にガタ取りするとともに、必要ならばシャフト先端をグラインダ等で削ってください。

【注意点2】

本機と植付部の合体時に植付部側ホルダの受け角度が合わずドッキングしづらい場合は、補助スタンドを使用してください。




・補助スタンドは本機と植付部の合体時および分離時のみに使用します。
・植付作業時や切離した植付部の保管時にはバーを取外すか逆向きに付替えてください。